

市議会だより おおまち

203号

令和8年8月1日発行
6月定例会号

特集 | 議会モニター紹介 2～3ページ
議会定数等に関する市民との意見交換会 15ページ



議会だよりライブラリーで
過去の議会だよりも
見ることができます



表紙写真 | 姉妹都市交流会 (美麻青具)
姉妹都市メンドシーノの来訪者との交歓のひと時
撮影者：太田昭司

表紙の写真も
募集します！

令和 8 年度 議会モニター紹介

① 応募理由 ② 議会の感想 ③ 大町市の好きなところ

新たな広聴活動への挑戦「議会モニター制度」。
市議会だよりは、市民に伝わるものになっているのか、市民の意見は議会で反映されているのか等々、当市の未来を担う 45 歳以下の若い世代 9 名の方から率直なご意見をいただき、議会活動に活かしてまいります。



北原 理江 さん

- ① 職場で議会の話を聞く機会があり、自身でも一度議会傍聴に参加してみたいと思ったことがきっかけです。
- ② 敷居が高い場所、近づき難いとの思い込みがありましたが実際にはとても身近で親しみやすいかもしれません。
- ③ 自然が近い、温泉が近い、水がきれい、公園がきれい、北アルプスの眺めが素晴らしい、カッコウの鳴き声が響くところ。



鍛冶 あずさ さん

- ① なかなか携わらない分野だったので、子育て世代として、議員さんに伝えられることもあればと思って参加しました。
- ② 堅いイメージだったけど、思っていたより、意見の言いやすい雰囲気でした。
- ③ 春夏秋冬、四季折々の景色が見られるところ。環境的に過ごしやすいところ。



中村 大地 さん

- ① 自分の住む市の政治に興味があった。議会が何をしているか知りたかった。
- ② 議員がそれぞれまちのことについて熱心に発言していることが印象に残ったが、専門的な話などについては市民がわかるよう喋ってもらえれば有難いと思った。
- ③ 暮らしやすさ。息抜きに湖にいけたり、山にもいけたりする。友人とのつながりも理由。



太田サンドラー 采七 さん

- ① 初めての出産・育児のタイミングで大町に移住、市政や制度への関心が高まったことがきっかけ。
- ② 多くの議員の方が一般質問されていて、議会の意義を感じます。紙を読み上げるだけの市の回答も多く、事前すり合わせ済の内容だけでない活発な協議があるといいですね。
- ③ 空気の綺麗さ・水の冷たさ・野菜の美味しさ・人の優しさ・自然の色濃さ、全部好きです！



梨本 純洋 さん

- ① 住んでいるまちの、課題を少しでも知りたくて。
- ② 本会議を何度か傍聴しました。広報誌などでは伝わりきれない、行政・議員の姿勢を近くで見ること、傍聴の重要性を再確認できました。議会に参加している人たちに年齢・性別に偏りがあると感じました。
- ③ 自然が豊富で郷土の歴史を学べる環境があるところ。



中山 慶 さん

- ① 議会の役割や実態を自分の目で確かめ、市民の立場から理解を深めたいと考え応募しました。
- ② 全体として丁寧に進行されていたが、予定調和の印象があり、もう少し踏み込んだ議論があると良いと感じた。
- ③ 自然や落ち着いた生活環境が魅力であり、今後さらに活用の余地があると感じる。



安部 聡子 さん

- ① 議会の活動について知らないことが多かったのでモニターを通じて市政を学び、子育て世代の市民の一員として意見をお伝えできればと思いました。
- ② 議会モニターになって最初に議員定数、報酬等について意見を求められた際は十分な知識がなく戸惑いました。しかし、この経験を通じて議会や市政について学ぶ必要性を感じました。
- ③ 北アルプスの雄大な景観が何より好きです。買い物にいくだけでも山に見惚れています。



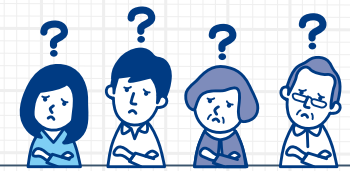
大崎 美絵 さん

- ① 今まで選挙などには行くようにしていたが、政治に自ら興味が向くわけではなかった。議会モニターを通して、もう一步踏み込んだ政治への参加を試みたかった。
- ② 行政用語が多いので、もう少し分かりやすい言い換えがあると市民がイメージして聞きやすいのではないかと考えた。
- ③ 市内で「食べ物」や「本」や「景色」、「体験」などが完結できる。面白い試みをしている方がたくさん居る。自分のやりたいこと(イベント)などが実現できる。



原田 里枝 さん

- ① 昨年、議員さんと関わることもあり興味を持ったから。
- ② 本会議を後日視聴できるのがよかった。質問や前置きが長いと感じる事があったので、もっと簡潔な方がいいと思いました。
- ③ 季節ごとのいろいろなアクティビティが楽しめる、のんびりした良い所です。



牛越市政20年間のかじ取りを問う



政友クラブ 二條 孝夫
にじょう たかお

Q 市長が抱える施策に対して、市民からの厳しい反対運動に、どう対応してきたか。判断材料の一つである市民アンケート調査の考えは。

A 施策における様々な反対運動に対し、市民への丁寧な説明をし、加えて市民を代表する議会と真摯な議論を通して、行政が進める施策への理解を深めるプロセスを大事にしてきた。アンケート調査に関しては市民ニーズや地域の課題を把握するのは参考になる。しかし、最適解を求める手法としてはアンケート調査によるものではなく、より広範な意見を求め、その中から、解決の糸口を見つけ出す丹念な方法が、適しているのではないか。

Q 厳しい財政と多様化する市民ニーズの両立は出来るのか。受益者



限られた財源で、すべての地区に平等な行政サービスは厳しい

負担金の必要性については如何に。

A 限られた財源を持続的安定的に活用していくため、真に必要な施策を見極め、世代間の公平性に配慮していくことが必要。人口が減少していく中で、これまでと同様のサービスを提供することは困難であり、様々な行政サービスや公共施設の維持管理においても、費用対効果や利用実態を十分検証し、徹底した見直しや整理統合を進める。受益者負担金に対しても直接便益を受ける方に、経費の一部を受益に応じ適正な水準でのご負担をお願いしたい。

残すべきだ20年間の足跡を



市民クラブ 中牧 盛登
なかまき もりと

Q 20年間続けてきた「ひとが輝くまちづくり事業」の目指すものは何か。

A 市民のやる気と熱意を後押しし、参加と協働のまちづくりを推進することである。

Q 補助した団体の数を事業の成果としているが違和感はないのか。

A 確かに違和感はある。この事業の成果は、地域がどのように変わったかだ。事業評価は見直す必要がある。

Q 20年間の事業成果を足跡として残すべきではないか。

A ホームページ等で活動状況を公表したい。

Q 20年間の市民の努力と成果を記録として残すことは、次の世代の市民活動の教科書になると考えるが、



東小6年生の木舟城登城体験

市長の思いは。

A 指摘のとおりである。この活動が地域にどのように影響をもたらしたか、地域がどう変わってきたのか20年間の成果を記録として残すことは大事なことである。これが最高のお手本の一つになる。

Q 市民参加と協働の考え方は、今後ますます重要になると考えるが市長はどう思うか。

A 市民参加と協働の考え方は、これからも変わらず行政運営の基本原則として維持・発展させていく必要がある。

地域を支える学びと交流



日本共産党大田市議員 栗林 陽一
くりはら よういち

Q 公民館の役割や存在意義をどう評価しているか。

A 公民館は生涯学習の拠点であり、人づくりや地域づくり、地域コミュニティ形成を支える重要な施設としている。

Q 市民サークル活動をどう評価しているか。

A 人とのつながりや生きがいづくりの場であり、地域活性化や高齢者の孤立防止につながると評価している。

Q 公民館活動と市民サークル活動をどう区別しているか。

A 公民館活動は行政が学習機会を提供する活動、市民サークルは市民が自主的に運営する活動としている。

Q 使用料負担増はどのような

な影響があるか。

A 活動回数の減少や会費の値上げ、活動継続の断念などが懸念されるとしている。

Q 高齢者や若者への影響をどう考えているか。

A 高齢者の参加減少や交流機会の縮小が懸念される一方、若年層の利用促進も課題としている。

Q 使用料見直しを検討する考えはあるか。

A 市民や関係審議会の意見を踏まえ、減免制度を含め慎重に検討する。



住民同士が集まり、学び、交流できる場をどう守るのが重要

官製談合事件・取り組み経過は



無所属クラブ 大和 幸久
おおわ よしひさ

Q 大田市官製談合事件等対策委員会以下、委員会は4月「大田市発注工事に係る官製談合等の原因分析及び再発防止に関する報告書（以下、報告書）」を市長に提出した。この報告のなかで「公判において事業者Bは、30〜40年前から公共工事の落札業者を事前に決めることが慣例であること、談合の仕切り役の存在により、本件工事の事前調整が行われていたことを認めている。また、10年前より市職員から予定価格の教示を繰り返し受けていた」と供述したと報告している。

ところが、検討委員会では事業者の調査を、LED工事の事業者しか調査していない。なぜなのか、説明を求める。

A 今回の調査は、LED工事の

入札に参加した事業者に行った。理由は裁判の公判での陳述証拠や被告業者が、電気設備業務や業種は述べていたので、その対象に絞った。裁判で、30年、40年前、又は10年前というのが、電気設備のことなのか、他の業種も含めてのことなのかは明確にされていない。明確でない以上、私どもとしては、疑いをもって調査することは困難と考える。

今回は、裁判の証拠陳述で明らかになったもので、検察も承知済みであり、承知のうえで何も罪を問われていない状況なので調査は行わない。



市民は業者などに付度しない、真の真相究明を求めている

観光地として質を高めていくには



政友クラブ 山本みゆき

Q また来たる大町へ観光振興計画の目指す姿は。

A 「行きたくなる 住みたくなる 信濃大町」を市の将来像として掲げている。目指す姿の実現には行政の取り組みだけでなく、市内事業者や市民が主体となって地域づくりに取り組み、市はその取り組みを支援することにより連携して観光振興を進めていくことが重要と考える。

Q 観光を育てる観点が必要では。

A プロモーションや見せ方にとどまらず、地域そのものの魅力を磨き上げ、観光地としての満足度を高めることが重要だ。地域全体で観光地を育てていく気運の醸成に繋がるよう、積極的な支援に努める。

Q 民間が主役となる観光をどのように支援するのか。

A 民間には地域資源を生かした

魅力ある商品造成やサービスの提供など観光振興の最前線を担っていたが、行政は地域全体の長期的な戦略の立案や広域的なプロモーション、受け入れ環境の整備などに取り組み、観光の評価に「質」を取り入れてはどうか。

A 入込客数などの「量」だけでなく満足度や再訪意向、滞在時間等の「質」の評価も必要と考え、市観光振興計画の将来像「行きたくなる 住みたくなる 信濃大町」の実現に努める。



観光地として選ばれるよう環境や受け入れ態勢を育てる観光施策を

用語解説

※1 ネーミングライツ：施設への命名権

Q 東山観光エリアは、宝か、お荷物か。

A 宝と認識している。

Q 大町公園駐車場の問題点は。

A 車両の通路幅が狭いこと、特定の時期や時間帯で駐車可能台数を超えてしまうことである。

Q その問題を改善する、話し合いはおこなわれたのか。

A おこなわれていないが、改善について限られた条件の中で、利用者が安全に利用できるように、維持管理に努める。

Q 山岳博物館整備構想とは、どのようなものか。

A 多額の事業費がかかるため、実現可能な構想に見直す必要がある。

Q いつまでに、新しい整備構想はできあがるのか。

A 来年度中には、再考した整備



市民クラブ 小澤 悟

構想案を示す。

Q 付属園の何も飼われていない動物飼育小屋は残すのか。

A 解体撤去が望ましい。

Q 受益者からの負担を求める前に、行政も自主財源確保のために、※1ネーミングライツを導入する考えは。

A 今年度中に導入する。

Q 東山観光エリア全体の大きなビジョンを描くことはできるか。

A 各課と連携し、実行できる整備計画を描く必要がある。



車があふれている繁忙期の大町公園駐車場

災害時の組織体制と子ども支援は



政友クラブ 西澤 和保

情報の伝え方や市職員の防災教育と訓練の必要性

Q 昨年と同日に発生した震度5強の地震の際の災害対応と組織体制は機能していたのか。

A 昨年の地震を教訓に職員研修等を実施した。様々な想定をし災害対応の強化を進めたい。また、初期の市民への情報発信漏れは、検証済みであり、庁内連携の強化を確認した。防災無線の問題点は、提案された大町市のアプリの活用も検討し複数の手段での情報発信を進めたい。

子ども支援や共助の為に避難所運営への取り組みを

Q 長期避難の際、教育基本法等に基づく子供達への就学支援や、置き去りにされがちな子供の人權に関

する今後の取り組みは。

A 現在迄に具体的な体制等の整備はない。災害時での保育士の巡回や認定こども園・保護者等とも連携し、子供の権利擁護も重視した市独自のガイドラインの整備を進めたい。

Q 子ども支援への理解は避難時の生活環境に大きく影響を及ぼす。避難所運営に関わる自治会等にも研修会等での働き掛けも必要だが。

A 実践型の訓練等を避難所に関わる近隣自治会同士が連携して行う共助の為に体制づくりを支援したい。



さまざまな訓練を通じて住民同士が助け合い、命を守る為の支援を

用語解説

※2 フェーズフリーの防災：キャンプ用品、缶詰、ペットボトルなど普段使っているものを災害時に役立てる考え方
※3 子どもの自殺対策の協議会：学校・医療機関・児童相談所・警察・民間団体等が連携し、子どもの自殺防止や支援策等を協議するもの

震度5強を機に防災意識強化を



市民クラブ お田 昭司

Q ※2フェーズフリーの防災対策をもっと市民に広報してはどうか。

A 「フェーズフリー」とは、普段使っているものなどを災害時にも役立てる概念である。市民の防災意識を高める上で大変有効だ。市内のスーパー等と連携し、日常の買い物とそのまま防災につながる、というメッセージを広報していく。

Q 妊産婦・乳幼児の専用避難所を整備する自治体が増えている。ぜひ大町市でも整備できないか。

A 災害時の妊産婦・乳幼児の心身のケアや衛生面で重要・不可欠だ。専用の避難所確保を検討する。

Q 災害時に高齢者や障がい者が直接、福祉避難所に避難する「直接避難」を進める自治体が増えている。ぜひ大町市でも導入を。

A 要配慮者が福祉避難所へ直接

避難することで心身の負担軽減や安全な避難生活の確保も期待できる。直接避難の仕組み作りについて福祉避難所管理者や福祉課と協議する。

子ども自殺対策の強化を

Q 昨年の全国の子どもの自殺者数が過去最多の538人となった。学校、医療機関、児童相談所、専門家等による協議会の設置を提言する。

A 市の自殺対策のためのワーキンググループにおいて、この※3「協議会」の設置について検討する。



アウトドア用品など日常から使用できるものなら楽しく備蓄できる

地域の住環境を守る条例を検討せよ

政友クラブ
大竹真千子
おおたけまなこ

Q 白馬村では地価高騰や住環境の悪化で日本人の離村が続く。当市でも影響が出る前に対策が必要では。

A 問題意識は共有する。軽井沢町の先進事例等に学び、住民の住環境を守るルールをしっかりと研究する。

Q 住宅地に無秩序に増える遠隔オーナーの1棟貸し宿泊施設は、騒音やゴミ問題が懸念される。実態は。

A 旅館業の許可数は把握しているが、住宅型宿泊施設の正確な戸数は保健所所管のため把握していない。

Q 県・保健所との申請段階での情報連携の現状と、その課題は何か。

A 現在は事前共有の仕組みがないため実態把握が困難なのが課題。

Q 市独自の条例等で事前協議の義務化や上乗せ規制はできないか。

A 旅館業法では条例等で住環境

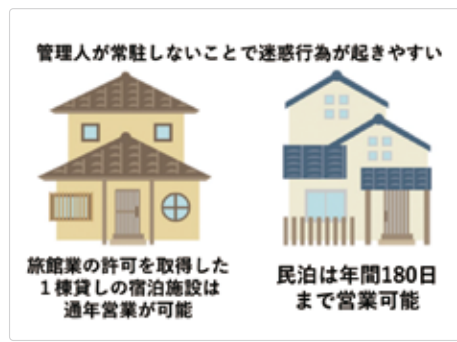
に関する一定の規制を行うことが可能。生活環境保全の観点から、事前協議や届出、苦情対応の仕組みを参考に条例制定を研究・検討する。

Q 迷惑行為への是正指導、事業者への苦情連絡先掲示の義務付けや苦情窓口の整備を検討すべきでは。

A 住環境の規制・条例と併せて、今後しっかりと研究・検討を進める。

Q 市長任期中に市政の重要課題へ位置付け、次期へ引き継ぐ考えは。

A 観光振興と良好な住環境維持のバランスに配慮し政策課題とする。先送りすることなく迅速に対応する。



住環境悪化の原因の1つに住宅型宿泊施設の急増が挙げられる

※ 用語解説

- ※ 4 魅力向上委員会：仮称「大町岳陽高校魅力向上委員会」。高校の魅力を高めることで、地域人材の育成を目的とする。現在は検討会段階で今後立ち上げが行われる
- ※ 5 ふるさとミライカレッジ：大学・学生と地域をつなぐ、総務省の地域課題解決事業

子育て環境の充実を市の魅力に

政友クラブ
中村 直人
なかむらなおと

Q 産婦人科の現状は。

A 分娩機能は休止中だ。松本圏域の医療機関で協力し分娩機能を維持する中で、現在は産前産後ケアの充実や相談機能の充実に努めている。

Q 専門医の確保が難しい中でも、出産期の夫婦の不安を取り除き、切れ目ない子育て支援をするため、市の担当課との連携や工夫はあるか。

A 小規模自治体だからこそできる、あたたかな支援を行うため、各部署と連携を進める。また「子育てガイドブック」にて利用できる支援をまとめ、子育て世代に案内している。

Q ICTを活用し、自宅から出産や子育ての手続きはできないか。

『野菜の日』
地域の方、農家の方から、野菜のおすそ分けをたくさんいただき、その野菜がつながりの種となりました。

子育て世代と地域農家の交流等を相談機会とする、新たな取り組み

A スマートフォンから手続きを可能にするシステム等の導入を図る。

Q ひとり親世帯や就学援助世帯に対しスポーツ施設等の利用料減免等の措置が必要ではないか。

A 個人への減免は難しいが、別の支援制度の活用を研究する。

Q 高校魅力化には、小中学校の先生と高校の先生の教育観のすり合わせと、子どもや保護者へのアンケートが必要ではないか。

A 魅力向上委員会で検討する。

※ 5 ふるさとミライカレッジ事業を教育の魅力化に活かせないか。

A 大学や地域団体、学校との連携を進め、共同研究、人材育成、関係人口づくりとして活用を検討する。

10年で地下水位10m低下

日本共産党大町市議員
宮田 一男
みやたかずお

指定管理者制度について

Q 市の指定管理施設に対する管理監督状況は。

A 指定管理者からの月例業務報告書及び四半期ごとの総括表の提出と指定管理期間の中間年には評価委員会で、協定書どおり事業が実施されていることを確認している。

Q 施設が、協定に基づいて運営されているかの検証は十分か。

A 施設では、年間を通じて住民からのアンケートを取っており、中間評価の際に生かしている。

10年後の人口は2万人を切る

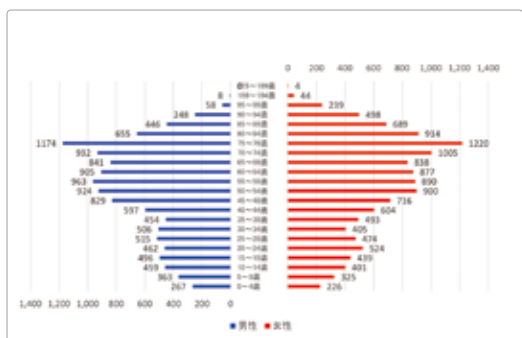
堀 堅一
ほりけんいち

Q 大町市の最高位の計画が来年に発表される。10年間の計画だが今の人口より5千人が減少する。

大型スーパーも2万人を切るようになれば当然撤退や閉鎖に向けて検討するようになる。上下水道料金も維持経費を2万5千人で負担していたものを2万人で負担するようにならないと得ず、単純計算では25%の値上げになるがその値上げのタイミングはいつになるのか。

A 水道事業については「大町市水道ビジョン」の収支予測で、近い将来料金収入だけでは必要な経費を賄えなくなることが見込まれている。今後提出される「大町市水道事業等経営審議会」の答申内容により料金改定の具体的な方向性を決定する。

Q 今後10年で虹の家の廃止や大



10年後には人口減少により様々な市民負担が増える

二次元バーコードから動画が見られます。

次ページは、常任委員会報告と審議結果

令和8年6月定例会
提出案件の審議結果

◇賛否が分かれた案件

議案番号等	案 件	日本共産党	無所属クラブ	市民クラブ	政友クラブ				峻嶺会		公明	無	結 果				
		宮田 一男	栗林 陽一	大和 幸久	高橋 正	中牧 盛登	小澤 悟	山本みゆき	大竹真千子	中村 直人	西澤 和保	二條 孝夫		一本木秀章	傳刀 健	太田 昭司	堀 堅一
報告第4号	専決処分の報告について 専第5号 大町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	承認
議案第47号	市有財産の取得について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○

◇全会一致で同意・可決された案件

議案番号等	案 件	結 果
報告第2号	専決処分の報告について 専第3号 大町市税条例の一部を改正する条例	承認
報告第3号	専決処分の報告について 専第4号 大町市都市計画税条例の一部を改正する条例	承認
報告第5号	専決処分の報告について 専第6号 令和7年度大町市一般会計補正予算(第11号)	承認
報告第6号	専決処分の報告について 専第7号 令和7年度大町市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	承認
報告第7号	専決処分の報告について 専第8号 令和7年度大町市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	承認
報告第8号	専決処分の報告について 専第9号 令和7年度大町市水道事業会計補正予算(第5号)	承認
報告第9号	専決処分の報告について 専第10号 令和7年度大町市公営簡易水道事業会計補正予算(第5号)	承認
報告第10号	専決処分の報告について 専第11号 令和7年度大町市農業集落排水事業会計補正予算(第3号)	承認
報告第11号	専決処分の報告について 専第12号 令和7年度大町市病院事業会計補正予算(第3号)	承認
報告第12号	専決処分の報告について 専第18号 令和8年度大町市一般会計補正予算(第1号)	承認
議案第45号	令和8年度大町市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第46号	令和8年度大町市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第47号	市有財産の取得について	原案可決
議事第1号	大町市議会基本条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議事第2号	イランを巡る武力行使の即時停止と中東地域の平和的解決を求める意見書	原案可決

次回9月定例会予定

- 開 会 8月25日(火) 午前10時～
- 一般質問 9月2日(水)～9月4日(金)
- 最 終 日 9月17日(木) 午前10時～ 討論・採決

傍聴にお越しの際は

- 傍聴をご希望の方は議会棟 2 階の議会事務局で
申込書をご記入ください。

本会議の
生中継

インターネットと市ケーブルテレビで放送しています。
録画・再放送もご覧いただけます。

大町市議会 議会中継

議員が質した6月定例会

こんなことが決まりました！

議案の審査と採決のながれ 本会議で議案の提案↓各常任委員会に付託（審査を任せろ）↓委員会審査↓本会議で審査内容報告↓採決
採決前に、議案に対する賛否について討論で意見を述べる（述べる）ことができる。

議案第45号 令和8年度大町市一般会計補正予算(第2号)

結果 全会一致で可決

インターネット環境整備で
保育園運営をより効率的に

議案の概要

保育園のインターネット環境を整備。

委員会審査



Q 保育園のネット環境の整備によるメリットは。
A 現在は、L G W A N 回線を利用しており、保護者や民間事業者との通信は不向きであった。今後は、オンラインでの保護者との面談が可能となった。保育支援システムを利用した保護者への園だよりの配信等が効率よく行えるようになる。

※ 用語解説

※ 1 L G W A N 回線：全国の地方公共団体と相互に接続する行政専用のネットワーク

議案第45号 令和8年度大町市一般会計補正予算(第2号)

結果 全会一致で可決

明日香荘再開に向けた施設修繕

議案の概要

明日香荘指定管理者が変わったが、前指定管理者からの引継ぎが遅れたため、新指定管理者と市の故障点検が遅れた。市も日頃から確認し、効率運用に努める。

委員会審査



Q 明日香荘の施設修繕が遅れた原因について説明を。
A 指定管理者の変更に伴う施設、設備の確認をしたところ、新たに修繕を要する箇所が判明した。
Q なぜ、早期の発見ができなかったのか。
A 前指定管理者が3月8日まで営業しており、この営業終了後の引継ぎであったため遅れにつながった。
Q 大町市として、準備不足があったのか。
A 前指定管理者の営業終了後に設備の故障箇所の点検をしたが、この開始時期が遅すぎた。

追跡
レポート

あの質問はどうなった？

一般質問で「検討する」と答弁があったあの質問。その後の進捗はどうなっているのか追跡調査します。

部活動の地域展開は進んでいるか

令和8年3月定例会の一般質問

どうなった？

進行中



質問 指導者やコーチがいない部活への対応は

指導者が不在で自主練習のみ行っている部活動や、コーチがいない部活動への対応は。

答弁 なるべく早期に指導者を配置する

早期に指導者を配置して、安全で効果的な活動ができるよう取り組んでいく。

地元企業等、指導者確保を進める

指導者の確保には県の取組みである信州地域クラブ活動指導者リストでのマッチングと市独自では地元の企業や市役所職員等への依頼を進めていく。

子どもたちがやりたい活動に、自分らしく取り組んでいるか、今後もチェックが必要だ。



山本 みゆき

官製談合事件・真相究明は

令和8年3月定例会の一般質問

どうなった？

進行中



質問 30～40年前から談合が慣例の真相究明を

落札業者を決める談合や仕切り役の存在、市職員の予定価格情報提供などの真相究明を。

答弁 捜査権のない大町市には不可能

LED工事業者に聞き取り調査したが非公表だ。地裁の陳述は県警も承知しているはずだ。

令和9年度より本格運用

大町市官製談合防止等対策検討委員会から市長あてに「再発防止に向けた入札制度等の新たな取り組みについて」を提出。令和9年4月には、入札契約審議会を設置し本格運用する。

学識経験者など第三者からなる大町市入札制度検討委員会を設置し見直しを進めるなど、小さな一歩だが、評価する。



大和 幸久

水は命の元

令和5年9月定例会の一般質問

どうなった？

実施済



質問 居谷里水源の水質悪化について

令和2年ころから、居谷里水源の水質悪化が進んでいる。委員会で2回現地調査をした。水源地の荒れた状況を危惧している。

答弁 対策を講じる

近年野生動物が原因とみられる大腸菌が検出された。柵設置など対策を講じる。

安全確認のための工事

フェンス工事、水源集水管修繕、覆土工事等々、安全確認のための工事。総額約9,700万円で完成。

令和2年冬、野生動物侵入の実態をつかんだ。中牧議員と相談、市長に写真を手渡した。事は動いた。



高橋 正

ブランド戦略の要 水の日制定を

平成30年6月定例会の一般質問

どうなった？

実施済



質問 大町の水 他地域との差別化を

特質ある大町の水、他地域との差別化を図りブランド戦略も含め水の日制定を急げ。

答弁 信濃大町ブランド戦略として検討

特定の日とせず一定の期間を設定、その中で水関連のイベントを通して機運の醸成を図る。

「みずのわ月間」として実施

令和2年度産学官金連携の「みずのわプロジェクト」を発足させ、毎年「みずのわ月間」を設け水ブランド事業の実施や水環境保全の周知に努めている。

大町人のすべての生業が、水の恩恵で成り立っている。水に感謝。



二條 孝夫



補欠選挙による新議員が決まりました

6月28日に執行された市議会議員補欠選挙で降旗達也氏が当選されました。



ふりはた たつや
降旗 達也 氏

大町の好きなところ … 壮大な「北アルプス」に始まり、世界品質の「水」が水道の蛇口から出る、その恩恵を受けた「食」・・・とにかく良いところです。

好きな一文字 …………… 「選」 みんなに「選ばれる大町」を目指して行動をしている。物事は必ず何かを「選び」進んでいく、選んで進んだ先がどうなっていくと自分自身が選んだことに対して責任を持つという思いで、この文字が好きです。

議員定数等に関する市民との意見交換会



6月1日、市総合福祉センターにおいて議員定数等に関する市民と議会との意見交換会を開催しました。議会モニターを含め11人の市民が参加。参加者からは「議員の仕事がよくわからない」「議員の提言等がその後どうなったのか知りたい」「選挙公約と違う行動をとる議員も」など厳しい意見がありました。

市民と議会の意見交換会の開催報告

いご意見がありました。議員定数については、「11年前の選挙から2名減らし16名になったが、その影響は？」との質問に、議員から「特に変わっていない」と回答。一方「成り手不足解消のために減らすのはやめてほしい」「減らすと市民の多様な意見が聞けなくなる」との意見も。また、議員を増やすには財政的な問題もあるとの意見も出ました。

議員報酬については、「現在の報酬で満足していますか？」との質問に、子育て世代の3名の議員より「報酬だけでは厳しい」との回答。一方、参加者から「なぜ議員になったかが大事」との意見もありました。

今回、皆様より頂いた貴重なお声をもとに、さらに議会で議論を深めてまいります。

～市民の皆様へ～ アンケートご協力のお願い

全国の地方自治体では、人口減少や高齢化の進行に伴い、将来的な財政運営は厳しさを増しています。そのような中、議会の役割はさらに重要になるものと考えます。

大町市議会では、現在、これらの問題を深刻に受け止め、今後の「議員定数と議員報酬」等のあり方について検討しています。

そこで、この度、市民の皆様から広くご意見をいただくため、「議員定数・議員報酬等」についてのアンケートを行うことといたしました。

ぜひ、多くの皆様より建設的なご意見をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

実施期間：令和8年7月17日（金）～8月17日（月）

参加対象：大町市民

回答時間：10分から15分程度

回答方法：右の二次元コードをスマートフォン等で読み込んでいただき、アンケートフォームにてご回答ください。



大町市議会が進化！

タブレット導入で、 より身近でスピーディーな「開かれた議会」へ

情報化推進特別委員会の解散のご報告



市民の皆様、こんにちは。
大町市議会情報化推進特別委員会の委員長を務めました、中村直人です。

当委員会は、「開かれた議会」を目指し、議会の情報化を進めるために令和5年6月に設置されました。約3年にわたる調査・研究の成果として、大町市議会に「タブレット端末」と「ペーパーレス会議システム」を本格導入いたしました。令和8年6月定例会をもって無事にその目的を達成したことから、当委員会は解散することとなりました。これを機に、議会がどう変わり、市民の皆様にとどのようなメリットがあるのか、私たちの活動の集大成をご報告いたします。

山積みの紙資料から、 タブレット1台へ！



定例会などで議員に配付される議案や説明資料は膨大な数にのぼり、まさに「紙の山」でした。特に、決算や予算委員会となると、積み上げた資料はバグ1つに収まらないほどです。そこで、当委員会で先進地の視察や研修を重ね、タブレット端末を導入しました。段階的な試行期間を経て、ついに令和8年6月定例会をもって、議案などの印刷物配付の「原則廃止」を達成しま

した。これにより、大幅な紙の削減（省資源化）と、事務の効率化が実現しました。

もしもの災害時にも！ 情報共有の要として活躍

大町市議会が導入したタブレット端末は、Wi-Fiがない場所でもインターネットにつながる通信機能（セルラーモデル）を備えています。記憶に新しい令和8年4月18日の地震発生時（当市で震度5弱および5強）には、この機能がすぐに役立ちました。タブレットに導入していたチャットツール（LINE WORKS）を活用し、議員と議会事務局職員の間で、瞬時に安否確認や現場の迅速な情報共有を行うことができたのです。デジタル化は、いざという時の「防災・危機管理」にも直結する大きな成果となりました。



災害等対策支援本部 タブレット端末活用

これからの大町市議会

タブレット端末の導入により、議員は「いつでも・どこでも」資料の閲覧が可能になりました。今後は、市民の皆様へのご説明やご相談の際にも、画面を見せながらより分かりやすくお伝えするなど、様々な活用が期待できます。

当委員会の役目は終了いたしました。今後はオンライン会議システムの活用や、新たに設置された広聴広報委員会への引き継ぎを通じて、本端末のさらなる活用を進めてまいります。大町市議会は、これからも市民の皆様のための「身近で開かれた議会」を目指して歩み続けます。

みんなのひろば Vol.133

議員が市民のみなさんの声取材してつくるみんなのひろばです。



- ①活動内容・アピールポイント
- ②健康の秘訣

地域の皆さんが身近な場所に集まり、茶話会、体操、脳トレ、趣味活動などを楽しむ場です。介護予防や認知症予防にもつながります。

市内各地で活動が行われています。参加したい方、地域で始めてみたい方は、ぜひ担当課へご相談ください。

福祉課高齢者・包括支援係 電話 22-0420 内線417

貯筋塾



おた みのる
太田 稔さん

①

毎週木曜日午前10時からマシントレーニングで、いくつになっても、遊べる体づくりを皆さんと一緒に楽しくおこなっています。

②

たくさんの趣味を持つことです。その中でも養蜂を20年おこなっています。毎日、日本ミツバチの顔を見るのが楽しみです。日本ミツバチが減少する中、養蜂仲間を増やしたい。

宮田町有志の会



あがた
縣 みえこさん

①

地域の仲間との交流と認知症予防を目的に、3年前に立ち上げました。月に1回集まり、お茶を飲みながら話をしたり、カラオケを楽しんだりしています。

②

信州大学の先生を招いた骨粗しょう症の講演や、講師による運動教室、脳トレ教室なども行っています。しかし、何といっても一番大切なのは、みんなで集まり、楽しい時間を過ごすことです。

北原町複合体操教室



やまだ ふさこ
山田 英子さん

①

毎週無理せず、自分に来る範囲で体操できること。頭の体操もあり、歌も歌ったりして、皆で笑って一時間半過ごせること。歯科衛生士、栄養士さんの話が聞けるのも魅力です。

②

大変でも時間がかかっても、自分で食事を作って食べること。できるだけ違うものを作ったり、野菜を無駄にしないように作ったりと、いろんなことを考えるようにしている。あとは大勢の人と話をすること。バス旅行も、皆が誘ってくれたことで行くことができた。

通いの場スポーツ指導員



おが ひでこ
岡 秀子さん

①

市内の4ヶ所の「通いの場」に呼ばれ、健康寿命を伸ばす運動教室を行なっています。足の悪いかたも椅子に座ったままできる運動や、自分自身でできるスポーツマッサージ等も教えています。

②

体の健康も大事ですが、心の健康も大事です。歳をとっても、興味のアンテナを伸ばして、自分の好きなことを見つけ、やりたいことに挑戦していく気持ちが、健康には大事だと思います。

編集後記

今、世界で人口1位はインドで14億人。今後アフリカで人口爆発がおき、世界人口はおよそ50年後の2070年には100億人のピークに。地球規模の気温の高温化が進み世界的飢饉の到来が迫る。真の安全保障は農業(食糧)・医療・教育だとする識者の指摘が身にしみる。

(大和 幸久)

広聴広報委員会広報分科会

【分科会長】 小澤 悟
【副分科会長】 栗林陽一
【委員】 一本木秀章 太田昭司
中村直人 大竹真千子
大和幸久